長期に買り急速に解決されれこと日本の決意が分らの民衆も問題が

上海特派員

日

第十五條第四項を發動か

張學良の無力に

國論難

前途多難

案を檢討

行發日七十月一 治代書本橋 人植物 遊武 村本 人剛即 地香一州可聞公東市進大 社報日洲南社會式株所行費

帝國代表は棄 する

> 洲国 日本

廿五日迄に運命決す

の上職監測會に提出され、に帝厳政府は第十五旅適用に留保し既定態度を固持表決の場合は整備して消極脈に段認し、いするが、右核正は第十五條第三項の和協能労力を確慮するものでないから結局職盟側は歩み寄るべく、斯くて右決議を

し帝國政府は既定方針で再修正の要求を出すことに決定し、

機能に登認しく修

總長私案は

事務局案に非ず

ては既定の重大決意を以て之に對し適宜善處するこだしてゐる、又修正要求が容れられざる場合には第十五條第四百条歐政府は規約第十五條の適用に對して從來智保を附し來つた態度

條第四項に移行することが豫想を来つた態度を緊持し、右師集者はの場合

することが 豫想されてるしれ、聯盟總會に上程さ

佛のマツシングリ氏は事態新くな。 この登録で作成された好く これたと

そになってゐる

務總長起草の決議案及び宣言案が

「項發動せば重

られるいものしる。 は、二十二目頭に措面すから日本家が同意されても、その結末は來週の月、火曜、遅くも水曜(廿五日)には見殿し、二十二目頭に措面すから日本家が同意されても、その結末は來週の月、火曜、遅くも水曜(廿五日)には見路し、二十二目頭に措面すから日本家が同意されても、その結末は來週の月、火曜、遅くも水曜(廿五日)には見殿し、二十二日頭に措面すから日本家が同意されなら同意し得べしとの案を送附し來たつた旨を議長かが和協の努力を鍛けた結果、日本政府からこれなら同意し得べしとの案を送附し來たつた旨を議長かが和協の努力を鍛けた結果、日本政府からこれなら同意し得べしとの案を送附し來たつた旨を議長かが和協の努力を鍛けた結果、日本政府からこれなら同意し得べしとの案を送附し來たつた旨を議長を拠長しました。 二十二日更に出直すから日本 され、松崎代表等は或はその頭瞻瞰するかも本案が同意されても、その結末は來題

ふの十九 議長、總長から修正案を説明 次回は十八日に開く 國會議

・ などうモンド、 などのみで日本の たのみで日本の たのみで日本の たのみで日本の

現内閣挂冠を豫問

政友會の對議會能

態度自重

の用他

國府毒

佛代表硬化 從來と變つて純理論

委員會コムミユニケ ケとして戦級か事

東那の抗議に鑑み、ドラモ としそのコムミユニを那の抗議に鑑み、ドラモ としそのコムミユニ

ド事務機長は全朝 總長私案の

り、イーマンス氏も何私家な支持の氏と連絡なとり詳細に失協私家な

観てゐる

られてゐる

市更員昇給大連市 記補佐々木俊

うらる丸 うらる丸は上

前八時着列車にて率天より 下沼英氏(関東郷監察官)新

に關しても意見を開院施造すると 一 に關しても意見を開院施造すると を 一 では出れず能の法律家

ころあつた

臨楡縣の居住民

滿洲國合流希望

かが山海關軍は傍觀

「種類し注目を添いてゐる、とこ 間単に右は氏意に依る お次ぎに何んだ、ロシャの銀行

兵士ではあるが、 数番が続く ら、繋がかけた。

第一線に

力を配置

軍砲兵は繰州へ

ら、遊木と同じ速力で、歩いてる人に を して と、 題 よと、 選末は、 自分だけ と、 題 ふと、 選末は、 自分だけ



大連市參事會 十六日午後二時か

天津十七日登】中央は張季良に

目重せよ

哪盟會議中

のみ内示したのは不都合でアメリ ドラモンド 都曼が決論案を日本に ドラモンド都曼が決論案を日本に い調停を受諾し得ねる明なるも支那は新かる風 の参加なければ職盟は

現著東つた。呼吸(震ると、呼吸は であつた。呼吸(震ると、呼吸は であった。呼吸(震ると、呼吸は があった。

直木三十五作

滿蒙の戦慄

(新京電話) 內蒙古自治 新四團 內蒙自治軍 滿洲軍に編入

(#114)五十錢(韓原王)

號八百六千九

瑞兆に沙河口署得意

下る

李汉

事の大連富士から

締の精神

して兩軍の地盤

討ちは第九旅と李海青

御紋章類似で

+ 月 年 V 和

市會議就が洋販の書につける議就、のマークを配したとはいへ皇室の財産を設めていた。 大園を散費し黒に全で雑花を浮か 繋じてぬるので早速繋作を差し出また。 大園を散費し黒に全で雑花を浮か 繋じてぬるので早速繋作を差し出また。 大園を散費し黒に全で雑花を浮か 繋じてぬるので早速繋作を差し出また。 大園を散費し黒に全で雑花を浮か 繋じてぬるので早速繋作を差し出また。 からが議員中にはまた「そんな事」 というではまた「そんな事」 では、これを歌の中では、また「そんな事」 というでは、これを歌の中では、これを歌の中では、これを歌の書となる。 これを歌の で・ としている。 これを歌の で・ としている。 これを歌の書となる。 これを歌の書となる。 これを歌の書となる。 これを歌の書となる。 これを歌の書となる。 これを歌の書となる。 これを歌いる。 これをいる。 これをいる。 これをいる。 これをいる。 これをいる。 これをいる。 これをいる。 これをいる。 これをいる。 嚴重に警告 市議の新マーク圖案

煽動機關を動員し 女スパイ暗躍

長以下四名の名かもつて ・ 受記述な変定し且つ日本軍の懐報 大を設り北端に在る熾動機關に妨 大を設り北端に在る熾動機關に妨 大を設り北端に在る熾動機關に妨 北満赤化の魔手動く に武器殲滅をする

自動車雪です

橋から川底

墜落

けさ旅順で三名死傷

事あると

觀客誘致協議

伐が殆と完了したの職の暴魔な

る手から敷はれた種種初め附近の

あり、今や赤化の

先驅列車で警戒 列車を武装

海中に飛込み橋下高き海十一尺餘 の二ととて川底の切石露出してる のこととて川底の切石露出してる 初二間除ぶち壊して

| 田午後二時樂廟子(紫山縹南衛。| 日午後二時樂廟子(紫山縹南衛。 王は左肩部を挫折、劉は胸部にそ 鄭桂林軍擊破

で就いて打合會を開くが協議事 面の参集をとび博覧會観覧者取

が常成では世下極力その防疫に発動かところとなり悩みとしてゐる。 今度は悪性の流行性脳脊髄膜炎の

満洲博出品の 各使用料金 市参事會の附議原 付會期中金二十五個 口六尺以內、奧行三 與行三

> 名譽の戦死 向原上等兵

大電話】飯田〇隊の前哨部院

とし他は貨物列車を成るべく旅客。

滿鐵警備會議で對策

手綱を採つた、又先驅列車との打合せを要するので直 輸送繁化期なので特

後者は重及び職車職部局、指令した

にする記述

大陸に於て同意を得たその原製は十六日の市製事會に附議されたが

生きた建國資料を

一坪(方六

上百六十回

、放技技術上の統一

滿洲國政府外交部で

れてゐるので

明日うらる丸で來征

西の風(晴)

予

内地議能の職像上一行の試合日程

御會

御

のなで都連する、最大の

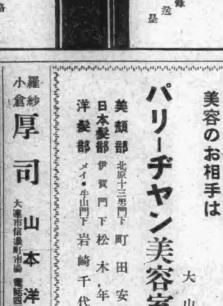
各地溫度 前十時

あり、父その株式も多数に分には漢文あり家古文

四キロ勘家溝において四十餘名の四キロ勘家溝において四十餘名の西方 向原幕之助上等兵は行方不明を傳 実服拔取り

訊 日時 1月十八日午前九時より 書書骨董 展 観 正 札 賣 立 會 書書骨董 展 観 正 札 賣 立 會 名責共に一致せる 帰居堂の





(情事項に努力しても) ・ 素写電話】チャムスに在る武装 ・ ま写電話】チャムスに在る武装

三角地幣の種様に終って同地方の治安維持完全を拠した後本春線の種様に のいまず者を開拓されること、 なが 同 に間乗ぎ者を開拓されること、 変東間 (本の) を (本の)

雄人で出さしたかなじみのバイ

に続々の武勲を樹て順次 で載せた御用船夕映丸は十

一惱方

金五十五錢

秦東洋行

悪疫が流行 穆稜附近に 足事を創る良識の創製に完成し自 病理治療者を無代で進早御遠慮を確たにはて悦んでゐる良樂を報じ、神を応れて悦んでゐる良樂を報じ、 リラサーから東生への熱質にモエッラサーから東生への熱質にモエ









京 東

町喰馬橋本日









武裝移民團の

佐藤氏表彰

丸(二五六五物)には

が正月を控へ 人間となり

ら學生

一等総家十六名、並等七十六名、 歴生があり、その中に個名で乗艦 歴生があり、その中に個名で乗艦 では四十五名の北学西常子排堂の 郷生があり、その中に個名で乗艦 百名が大連港を紙田本溝してゐる が、監局ではこれ等の壁上群の行 を記述を紙田本溝してゐる が、監局ではこれ等の壁上群の行 を記述を紙田本溝してゐる が、監局ではこれ等の壁上群の行 を記述を紙田本溝とであるが、溝洲被型殿以

何名乘船

歸滿する

敵狀を偵察中に殊勳

の通り身は潔白と

大学の行 である デワー ボワイトラベル ウヰスキー DEWARS White Label WHISKY 健 代 職 所 店 株式会 社 画 川 南 店

盗人圖々しく狂言自殺

に連行殿軍取調だ

大芝居には満石の刑事連も

取然王座を突いて

全満第一を誇

3

度

安東城子疃間の

バスは金福經營

鐵道ごの連絡を圖る

入場料·紳士淑女(個)名)五十美(計成化)

御同伴者とのダンスは無料

都る

入質せる職品会部

夕映丸宇品へ

門司市民、學生場列してこれを見揃らず和布刈神融一帯の海岸には て暴風雨模様の悪天候となつたには十七日朝から風さへ弱く加はつ





酒

0

光祭を 蒙る

何か

ら何まで

申分の

ない蓄音

品質升目確實

配達迅速

癰、頭痛、齒痛、火息横痃、睾丸炎、丹毒、片

筋肉炎、

肩凝、

不明の炎症又は熱等

齒痛、火傷、

器だざんなに見積つても三、

家庭の園様は

ラ

天。

オから

二四九八

四十圓の値打は十分にある

マタ夏切の内に御早く最も安い田中 部で何んでも揃ひます

員

リーガル、ジュニアーレコードがピクターコロムビア、ポリドール 大量新入荷致しました コロムビア、ポリド の勢揃

國産の権威 ÿ スーパーピーター KM製優秀ラデオ + 殿取用さして最高の適品であれるペントード球さミュー様 7 クリン y

本位の店

田

審音器店

サービス の徳 底へり かっぱん でし、かさのを横に気をつせが、大幅製の高級セットな購入してし、かさのを横に図るなど、このを横に関係のセットは光部分晶を多種に常履し熱神せる技術という。

娯楽と知織

の泉

日元

本

賣

太

■大大藥

加馬北店社

表源六速

會 二一五三〇〇五五〇五五〇〇五五 莊 莊 充 无 无 无 炎 仕 的廉

補電發費ラデオ排申込御取次数ます

酸一は積量の瓦○五剰本 す當相に程瓦百の剰布査 東亞 理 等東京セニセ六〇書 を東京セニセ六〇書 を東京セニセ六〇書

淋巴腺炎 肋膜炎 見よ 管 支 炎 症常本 同り胸部一瞬に強力なり、 一時間位にして全く解熱し治症に向かしめたり 時間位にして全く解熱し治症に向かしめたり 時間位にして全く解熱し治症に向かしめたり 素材機診療所設害 が、不山病にとは が、不山病に長れて見事が、大り、 が、一面足下に強布して見事が、大り、大り、 を有する薬物で、他の巴布側とは を有する薬物で、他の巴布側とは を対する。 をがする。 をがをがする。 をがする。 をがする。 をがをがをがしる。 をがをがしる。 をがをがしる。 をがをがをがしる。 をがをがをがしる。 をがをがをがしる。 をがをがをがしる。 をがをがをがをがしる。 をがをがをがしる。 此の驚くべ き効果を!!

傷、凍傷、原因濕疹、癤、疔、 耳下腺炎、扁桃 腺炎、乳房炎、 腰痛、

淋巴腺炎、盲 劑療治透滲り

益 /御買上げ下さい 3 凄い盛況 ル手提蓄音器 斷行

以いきに、是非一度御越しを願ひます。 とうぞ御 と と と と ら で 御 と と ら で 御 と と ら で 御 と と ら で 御 と と ら で 御 と と ら で 御 と と ら で 御 と と ら で 御 と と ら で 御 和泉麻雀俱樂部

白米變動相場は

腹膜膜炎、

肺炎、肋膜炎(濕性乾性)、

リユウマチス、

關節炎、

膓炎、氣管支加答兒、

腎臟炎、浮腫、

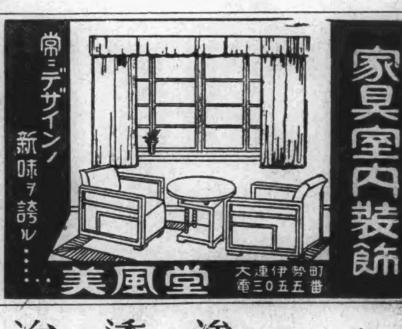
り消失する奇績的特効を有すを誇りとする腹膜炎腎臓炎の浮腫腹水等數回の貼布に依本劑は鎮痛解熱の作用を管む外濕性肋膜炎

浮腫、滲出液の消失作用

連鎖街の船屋大島屋

#1111 OO#





劑

ネオホリミンは一般濕布劑又は巴布劑と異 ち本劑自ら滲透作用を營む素効顯著の裏 阿作用を迅速に營むが故に使用と同時に鎖 痛、解熱の作用顯しく共に消炎の作用顯著 なり從つて只一回の貼布にて治癒せし等の なり從つて只一回の貼布にて治癒せし等の なり從つて只一回の貼布にて治癒せし等の なり従って只一回の貼布にて治癒せし等の なりでの良 源布爾の追從を許さぬ ホリミンの特徴

醫學博士 堀 迈憲治 氏 木

爽

-

創見 憲

田 物 都 御 推 推 美

外各諸大家舉つ

革命的治藥劑として 各専門家に賞用さる

量源開發を待

熱河省經濟事情

馬鹿にならぬ蒙古人の購買力・

する熱河省に峡幣電優の山がては王道治政の壊光と化った。

よい、從つて輸出品の如きも一の二者に限られてゐるといって

牛、馬、羊等の舎鹿が主たるもの 東、稗、高粱、大豆等の農産物、 東、稗、高粱、大豆等の農産物、

農産物の種類な続別

歌、薔婆等で、之に次ぐのは

決算の内容

を顧慮して決定 今津頭取心境を語る 趨勢

が後も少く! 「無数すること はい状態にある ない状態にある

年度滿鐵混保大豆

学付の方 は念に回収さいふこさは出來ないものもあるが清 算後も向に滯つたものは皆私個 外が肩替りするここに決念して のまずから株主、預金者にはの まり御迷惑をかけるここはある まいさ思ひます 千株以上株主 今津氏一

損傷粒多く粒形も

上海貿易額

記錄的激減

としたアト語味がいい、 は何等学インフ、 は何等学インフ、 に伴い再度の はでは、 はなのが、 はなのが、 はなのが、 はない、 はな

上海為替情報

公主嶺査定會議で決

は十六日夜いづれも響速した。これによれば今年度の標準見本は南北浦洲を適じて各出週り職より千四百三十二個な事集し公共避眈眈 準見本

五日會例會

年に此し郷線に於て四五〇年に此し郷線に於て四五〇人、輸入

か

黄

はは明確な理由があるであらう が、何にしても大連の財外には ーセンセーションを興へた によると戦行 の報酬にかり

定期境合高(村六日)

等工業第1回人第61gg

新星鄉 (京 湖) (京 山) (宗 山) (宗

九九九八八四三七七個

野宮 (東 100°00 年 170°00 年 100°00 年 100°00 年 100°00 日 100° 公司 公位 火量 11 大公司 た。 さ、 さ。 さ

味っなった。

其の他の 百二十除種あつて、其の主なる西盟地方に多い、薬草は其の種 機し、各地型る所

郷粒が著しく増加したことで発液したる黄豆の多が減少し、健って撮

期待の低資

またも望み薄

政府の財源涸渇が原因

迎きようとしてゐる際適切だと是 でが其情能意見は見なかつたが何 たが其情能意見は見なかつたが何 六時金水にて側倉を開き土方總 フレーションの繁雲が高く

七日愛」金融業者にて組 金利問題等協議

※高 七車 ※高 七車 営市も聢り

況

福牌軍手頭

市

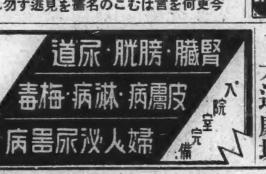
山信漁

本市場

【上海十七日後】標金は物品筋の で定り、風は大連筋の見送りさ外 で定り、風は大連筋の見送りさ外 で定り、風は大連筋の見送りさ外 に仕手なきため至極関散 八〇〇一兩七九七兩三 本日封 切 昭和新撰組鑑賞

海標金

尾形一郎 電話セセセ六番 大連若狭町三(西通人)





昭和新撰組

翼き若 十五日・5 大連劇場 御優待等割引券 御優待等割引券

五味國男 丽园

下階級原 オン

市場

株 11100 T

大阪期米

山本正隆支配人談

財界へ

の影響輕微

窮極は今津頭取の心境變化

廿八日の臨時總會に附議

八連商銀解散決定

(短期) 大新東新 (1140) 10360 (1140) 10360 (1150) 10360 (1150) 10360 (1150) 10360 (1150) 10360 (1150) 10360 (1150) 10360 (1150) 10360

計畫具體化

國幣建で日滿合辦說有力

とつてすること

十十七五三一現

鐵道爆破影響で

京心豆粕、豆油は水の質素

不京株式 前場引 東京期米

た手像つて居るが を手像つて居るが を手像つて居るが を手像つて居るが とであり、否内地と難し酷って独全 ことであり、否内地と難し新標。 ことであり、否内地と難し新標。 な銀行の解散ぶりは嫌いたこと がない すする

を附譲するが配 定時株主総合 た

一般により後期の八分に内

及損益計算書 報告書、貸借

海戦の無職疾輸送は一月以来ほど 「自一間の別車爆破事故のため 大正のごとき繋やを示してゐる 像定貨車数 賞 十三日 九〇〇車 九二三車 十六日 九〇〇車 七八大車 十六日 九〇〇車 七八大車 十六日 九〇〇車 七八大車

廿八日開

催總會

市 では過ぎ終了した▲大機には 完全粒が前年に比し一%だけ 完全粒が前年に比し一%だけ 元であるので全種 でしては變りないこさになる ちしい▲流数のこの見本決定 に割する努力には充分経済してよい

况(十七日) 産

大豆强調

過般の臨時議會に決定な見た戦闘 に開かれる領金部査金運用 を記念に附続される新規融漁家に を記念に対している新規融漁家に

一 今朝の定期は大豆は夏氣旺盛で強 調を辿り夏柏、豆油も相伴つて壁 調を売し高楽は奥地高を移して壁

日本 ・ 中央 ・ 一大の ・

叉夜色金 明傳本爺·穆田高 狀廻狗天 篇前演主郎壽寬眞

高、日田盛誉同事、米日不變、地 選も要保合、管市は産地の失高見 場勢要保合、管市は産地の失高見 場勢要保合、管市は産地の失高見 機には相當出合った、引際氣配は 現物三十六錢三原、一月三十六錢 で、先 機には相當出合った、引際氣配は 現物三十六錢三原、一月三十六錢 一月三十六錢三原、一月三十六錢 一月三十六錢三原、一月三十六錢 一月三十四錢五原見常 銘柄 約定期 約定值段 枚數 報筋 二月限 三五七〇五〇 同 四月限 三五七〇五〇 回 四月限 三五七〇五〇 回 四月限 三五七〇五〇 回 四月 三五七〇五〇 麻袋小 綿糸弱保合 聢り

十七日より十七日のカレンが

央

五四 来高年表

三萬

市川右太衞門の

與太者と緣談

三井秀夫◆若水照子◆◆波

笑ひの速射砲

E

活

□ 出來高期於三百二十八萬個出來高期於三百二十八萬個出來高期於三百二十八萬個出來高期於三百二十八萬個出來。 明天公 11至5 林,四十七回十段 株(昻騰)

三日公開 口

テクニカラー ナヤツプリンの

じやじや馬馴らし めよ感激 鎌の 灯

階下••六十錢

뼮 腦煙

封切。

の勸誘結局承認されやう

七省軍事を統轄

で省の全将領な。

の通り の通り の通り の通り

護師被仰付

会始め諸役左の如く**変**表された 会婚の諸役左の如く**変表された**

が出先大使に満洲臓の不秘認地養 が出先大使に満洲臓の不秘認地養 を印象づけよとの訓電を養したと

外務取合はず

意見對立

児 發動 虞 日本對聯盟の衝突懸念 英佛の意見對立せる事情より見ても配給が、小國筋の不滿爆發に前途案ぜ

帝國政府の囘訓內容

の請願がもつさも好ましき所以なる事か強調す

十七日内田外根より職議に附し午後五時松。「東京十七日費」ドラモンド氏の事務局家

石侠の適用に智保を附し来た原則的立場から右を近れず石で覚明さるべき趣旨左の如し、

りべき趣旨

米國の日支問題態度 在歐洲使臣に訓電を發す 「不承認」OK

の日支問題委員會に非職盟數据書 米の異常な關心

張總長自ら精鋭を率る

新入營兵

専小門兒

熱薬オインを

(守護神)

先づ

番に御用意あれ

けさ、うらる丸で到着

十九日朝九時廿五分旅順へ

で既にこれが歌葉なも織しなもの、如くであるのをない場が関かれた場の他四門、機場鉄四四

西南七省大同盟

相互間の内争を排撃

歌御會始め

諸役決定發表

荒木陸相談

の學良軍を討滅

敵匪兵力

事變戰死者

要素」ご記述されて居るが之な「若干要素」で修正する事

國の参加を招請も得」との部分より「非聯盟國」の学句 のなり」と認めたるか「有益な基礎を含む」もので認

> 満鐵増資の 半額は政府引受 成案は八田副總裁東上後

味算はすまくやつでもらへ 休舎明け業者も迫つたが

上淡定せられるに至るものと映 一、田子氏に混出する機様であるが種々の事に混出する機様であるが種々の事でおったが今回自用大概が 東京特電十七日報 ル方面の激展に出級中蘇州次の発 当十七日報表された。 当十七日報表された。 1000年日本の知名の発 1000年日本の知名の発 1000年日本の知名の発 時であ回動につき線解を求め十時間含した 別院養倉を開催する事に決定した。
別院養倉を開催する事に決定した
別院養倉を開催する事に決定した
別院養倉を開催する事に決定した
別院養倉を開催する事に決定した
別院養倉を開催する事に決定した 新十時職會し、都市計畫法、小切 前十時職會し、都市計畫法、小切 「東京十七日餐」本日の職議に午 謝外交部總長 【ハルビナー七日数】 満洲岡外交部總長連ナー七日数】 満洲岡外交部總長連 する駐日ソウエート大使ア・トロ 【東京十七日禄】二月十七日帰蔵 に叙位 定例閣議々事 露大使送別會

デノチビリン丸 大人のかせいねつには を 関ラな解析で、 関ラな解析で、 関ラな解析で、 動作用なく でする のでは、 のでする のです のでする のでする のでする のです のでする のです のでする のでする のでする のでする のでする のでする のでする のでする 主はやりかぜ、肺炎 かぜねつ、はしか 寒價二十銭より一圓迄

聯盟會議の終局は?

問題学系専問題と有意義に解決するさ共に、不侵略條約はケロッグ條約さ抵例するものでない 田園詩人の空想さ何だ、係事問題の存する何さこそ、この種條約を締結し帳筆を防止する姿がある冒力鋭し、尚本は何等係事問題のない 政府とならば 不侵略條約を締結するを適當と思惟し居

即ち之が

公訪問

本あげて居るが支那の抗日は季節的のもの故氣にしない、長江 筋の共脈の熱薬が更に擴大すれ がの共脈の熱薬が更に擴大すれ は北支にも影響すべく充分注窓 は北支にも影響すべく充分注窓 は北支にも影響すべく充分注窓 に対するが、長江

荒木隆相は名古一

會明け劈頭における

百相施政演說骨子

十九日臨時閣議で正式決定

特する機測で、接等なる農村も が、政府さしても関連考定中であっ こが、政府さしては関連考定中であっ こが、政府さしては民事度から こが、政府さしては八年度から こが、政府さしては八年度から

めこ、満洲事件養生以来四外時 局重大化のため修海軍職第の日 局重大化のため修海軍職第の日 たによる儀算 編成の經 緯を述 大による後第

満洲體育に

理想を與へよ

一般では、 一をは、 一をは、

命郷上の邦人は、

は絶對的構成を奏ふる理由はな

滿洲紡績

本の総合プランな作成する像記で、 の総合プランな作成する像記で、 の総合プランな作成する像記で、 の総合プランな作成する像記で、 の総合プランな作成する像記で、 の総合プランな作成する像記で、 の総合プランな作成する像記で、 のな合プランな作成する像記で、 のならプランな作成する像記で、 のない、 の総合プランな作成する像記で、 のないてが一年間に今後の清洲被派 定ななすものと見られてゐる。こ のなが、最低の記載では第一部が を要するので一月中には完成 での後の手織きは根霊時日 であるが、最低の記載では第一部が るるが、最低の記載では第一部が ならう これらの諸家を適宜機械して総合 これらの諸家を適宜機械して総合 これらの諸家を適宜機械して総合 これらの諸家を適宜機械して総合 ならう

第九章の原則が解決の有益な第三項には、リットン報告書

經調會第一部の

見本大豆

查定會成績

ては営業者さらて充み よいさ思ふ、登定會用 新原に赴き漁洲中央銀 新原に赴き漁洲中央銀 るが、これに對する激 れなかつたのは調る かった。

豫備プラン

一月中に完成の豫定

度産見本大豆の食正館に出離した
五日午前十時より開催の昭和七年
の法職潘織農事試験場において十

か、既に去年三月十一日の總會い事で、今更特出すのもヘンだ

n

内以行十五 すらさは傷中

題されてゐる。昨年十二月十

動及び不用意動である。 動及び不用意動である。 動及び不用意動である。 る。第三國介入の餘地はない。 接交渉の原則が明確にされてゐ なつてゐる。即ちこれで日支直 佐つて

洲國否認の文句を撤退せらめた にあるかを知る事が出來る。こ にあるかを知る事が出來る。こ にあるかを知る事が出來る。こ であるかを知る事が出來る。こ

の が第によりては 対称になり、 決して報き問題で はないので、これに 就きては別 にないので、これに 就きては別

肪簿の混亂

が民は十六日を帰連、見本音定館が民は十六日を帰連、見本音定館を本年の見本大豆香定舎の結果は大體前年を選りなく、至極平穏とれた見本大豆子四百三十二袋につき金定の結果、その割合は、こつき金定の結果、その割合は ◆配品監視に番級海の加入者名登: をおけると、南流地の香郷を探して見るからです。 をはって一塊をあげると、南流地によって をはみに一塊をあげると、南流地によって をはみに一塊をあげると、南流地によって をはみに一塊をあげると、南流地によって をはるからです。 JA 4.84 S. ひ1011番に

醫師規則

三千圓大賣出

わが陸軍、満洲國

八調查團派遣

今年三四月頃を期~

二月一日實施

っ る十四日附殿会家一及第二號を以一

関より石田相談部長、霍の議會議室に開催。

現金前

高田會頭の歸來談

稅輕減要望

満鐵の直營で

自動車營業計畫

重役會議に附議さる

▲支部西南七省の大同職語。

當市保合

(高) 本語 (大豆) (東部) 大豆(東部) (東部) (東語) (東

東 東 東 では不充分 では不充分 では不充分

當市强含み

人の病は婦人の手で

電話青山一 三 四

動でなければならな

九三三年こそ正に實業界の

合してゐる

は完全にいへる様に一に

ウサギー

着心地のよい

下着の種類ごその着方









新印刷機の出現和歐タイプライターの姉妹機

十一歳の男子 家庭顧問 でせうか

山崎祭三郎秦僧五十銭・一興・園・特製三興・五曲

陽院參謀總長宮殿下御染筆

揭額復製(絹地) 須

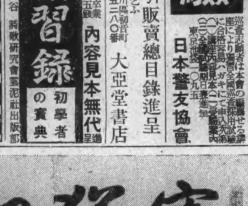
そこにおちこんだ

悪臭を放つ

査試驗

大割引販賣總目錄進呈大割引販賣總目錄進呈 **今**內容見本無代對

教道講習錄·司



今や軍國極めて多端の時に方り元師園院宮戴 の御身を以て畏くも挺身奉公の範を國民に示 し給ふ、吾人國民たるもの寔に恐懼措く能は ざる處であるが吾滿日婦人團に於ては今般子 既を副會長とせる皇道振興會と謀り聊か殿下 の御就任國謝の微意を奉表する意味に於て関 院參謀總長宮殿下御築筆掲額(複製)を在滿同 胞に弘く預ち日頃家庭に於て日夕これを仰ぎ 奉ることは近時の如き非常時日本國民として 幸いに江湖忠君愛國の土は奮て御申込あらんめにこれを頒布するとになった。めにこれを頒布するとになった。 大 極上統本(タメ地)

一、復製法 大及小の二種は帝室技藝委員で見直に何人も驚騰に價するるのにて黒色の光澤、濃淡、光筆版によるものにて黒色の光澤、濃淡、光筆版によるものにて黒色の光澤、濃淡、 初二重地

H++大二へ

冬のお化粧料は全世界に誇る

髙新洋行

申

滿洲日報社事

市東公園町

大阪南船會社大連支店 大阪南船會社大連支店 電話四二三七零 電話四二三七零 門阿波共同

電五五五四・四七二年 労 町 案 内 電

■日清汽船速出帆

キューナード湾船會社 第4期船株式會社大連代理店 朝鮮郵船株式會社大連代理店 朝鮮郵船株式會社大連代理店 日本式會社大連代理店 日本式會社大連代理店 日本式會社大連代理店 日本式會社大連代理店 「三七三八番 大連市監報通音・接 大連市監報通音・接

地番二一断狹若市連大 (前院医男岩) **院醫科密森藤**

借力の五三話電

大阪商船株武大連支六大阪商船株武大連支六大阪商船大連支六

時阪出

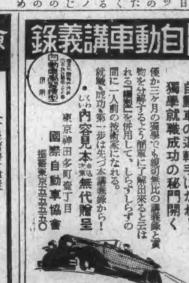
一東京級備る瞬有を 東京の東北ので の京の東北ので 一東本の東北では 一東本の

脱毛薄毛生きは悪人物

藏甚子宝 士博學医 一六六七電+八七圓而連大

• 同中通車電場広西橋口計構

則早東京遊谷書葉廿日本鮮灸學院身成功開業者千五百餘人の經驗地日本唯一の光榮ある講義協則教授本院出



就職成功の秘門開く車の運轉手になれ!





天津行

11日本郵船出帆

昨年の素晴しい數字

リ来郷し来記職に接続中である リ来郷し東記職に接続中である リ来郷し東記職に接近との後輪とし 地を満洲に求めて渡職し活験中で ある江連力一郎氏は十五日新京よ

悪魔の囁き

日午前十時民政署附近を中心

大阪・道修町

*天皇漢(一) 本天皇漢(一) 本天皇漢(一) 一大連漢(職病)院正門前 本天皇漢(一) 一大 名和景次郎 本天皇漢(一) 名和景次郎 本天皇漢(一) 一大 名和景次郎

牛乳 パタクリーム ・ 牛乳 パタクリーム ・ 大連牛乳株式会社電四五三七番 ・ アイスクリーム ・ 満洲牧場 電話六一三四番

北の原何でもウンミ

信張町通流速町電車停留

日本橋際 電話三五八四番 大連高浪館管夜樹彰

三清洋行地金如

の御用金は

でできる。

要其他家畜類診験 学ステムバー狂犬病

石井家畜聯 二〇四

電話六六五〇香 養料十圓以上應需 全料十圓以上應需

無板。 ・ 大連明治明七協の昭洋行 ・ 本面用具 ・ 単後、幼 ・ 本面用具 ・ 単後、幼 ・ 本面用具 ・ 単後、幼 ・ 本面用具 ・ 単後、幼 ・ 本面に対しています。 ・ 本面には、 ・ 本面には ・ 本面には

のため上京のさころ十級職長に歳て殉難警官

代に中尾判太郎南氏が内倉様代は今回新見愛

遠く酌婦に資飛ばされんとし

虎口を脱れた彼女

大好調を示した

鐵道爆破の

關係者一同調查

慎重に行はれた犯行

道敷設請願

東邊道各地商工會代表の願ひに

奉天省公署でる審議

アの大喜びである 製紙を設とばかり の大喜びである

旅順市長事務 端年像りにおいても之が保護 ・経順市長事務 ・経際する模様があるので率が ・経際する模様があるので率が を受けてか最近インフルエンザが 【奉天】繁天でも三家四温の影響

屠殺場を擴張。 公衆衛生を徹 新京都計に件

ふ施設

生上には最も観響なる を触めるであららがそれが をしまれる五ケ年を をしまする。 よ、教育に治安警察に自治市政に と、教育に治安警察に自治市政に せんこうしのがある、土木事業にせ 當籤者 奉天歲末賣出

歌美 5二枚を持続した 大学 は捕鯨のまぐれれ 大学 大学 一枚を持続した。 大学 大学 一枚を持続した。 大学 大学 一枚を持続した。 大学 大学 一枚を持続した。 大学 一枚を手がり 一を手がり 一 ダンス で受験に来ない の質出像で乗り三

館由ダンス軟機脈と で飲食の塩供や ・屋明氏に繋する ・屋明氏に繋する ・一屋明氏に繋する ・一屋明氏に繋する ・一屋明氏に繋する ・一屋明氏に繋する

日語

神智所

高粱の植付禁止 當局の匪賊豫防策

【事天】 満洲崎の治安維持を職保するため昨年は南郷本線より片側五百米突以内に高聚の横付けを禁止したが本年は之たことになった之がため後来職及は膨膨緩管で後製してゐた清寒が自己である。

撫順スケート祭 二十二日盛大に擧行

當日に

測し緊地側に附した。

全鞍氷上大會

二十二日舉行

同主催にて来る

温かい宿を提供

>

ことに決定したが監日は観山神社 との野女様町が乗へ概當の戦闘と引奏へを はいる いっぱい かいかい ことに決定したが監日は観山神社

日は総山解説

奉天に宿泊所設置し

舊曆歲末賣出

安東の試み

スネーク リレー等各種四十回テーズ連終類走 氷上スプーン

「東京の司能により就職をした者も て来た内鮮人のルンベンは多少各 事権が終るので配板に美頭にかけて来た内鮮人のルンベンは多少各 事権が終るので配板に美頭にかけ 本溪縣の匪賊

「安東」安東輸入総合の記憶で日本ことになつたが安東としては始めての試みでその成績を注目され

兵六十八名

であった彩天城安藤戦略の初年兵に十二日本でに六十八名を得たの で事兵官計中尉引率の下に十四

旅順 放送

れるで

女給 敷名入用 東町カフエーリリー 電三四一六番 原 帰見皆中寒寒、希望者本 原三四一六番

那會人に 多い譯は

女中 ス用年十七八歳より十四 大連市群ケ浦小波町大油電気に でスガールス用、廿酸前 でスガールス用、廿酸前 でスガールス用、廿酸前

ミシン高価関系する六八四 古本の御用は 養五九一八

发衣 裘 日陛町 三浦屋 | 大連市三河町二 家政婦 東海察 電三六六三番 共海察 電三六六三番 東海線 電三六六三番 呼吸器障害に 変見 佐々木洋行 大楽を記し二 大楽を記し二 大楽を記し二 後見所町10 田地野千代 速率 三 油 芳 子迪多忙會員至急募集 福原正義先生創 政護婦派遣 猪

人同二年目指して一 奉天省公署の躍進し 税務當局の徴税策 に残つてぬるのでこれな教教するであった。其の因者は今も何違か

脱税がなけら

これを一律に施行する意向である

様である、正直さうに見えて性や放がある、正直さうに見えて性や液があることはいづれの脈の人間にもあり飲な職人の脱粉であり、にもあり飲な職人は影から秘恵と総校し、これの影響とはない。

■所長者難は十八日初版 機能所長者職 [機関]

白帆・天帆高級側化粧紙は

東死體

が現場により変化性が

安東旅行俱樂部

近人愈內發會式舉行

本語に変してかた止事者 公用兵以州下土町以下の州北殿(東 中窓間に響り野熊武城 して以下側壁である、完保駅で ・十五日に至って東性 十七名の窓低販変能を低硫し渡保 ・十五日に至って東性 十七名の窓低販変能を低硫し渡保 ・大々能助疫に整て砂酸 は際脊髄膜炎能定の脚により販時 ・大々能助疫に整手し渡上中脚以下 ・大々能助疫に整手し渡上中脚以下 ・大々能助疫に整子し渡上中脚以下 ・大々能助疫にをである、完保駅で ・大々能助疫にをである、完保駅で ・大々能助疫に整子し渡上中脚以下 ・大々能助疫にをである、完保駅で ・大々能助疫にをである、完保駅で ・大々能助疫にをである、完保駅で ・大々能助疫にをである、完保駅で ・大々能助疫にをである、完保駅で ・大々能助疫にをである。 ・保険である。 ・では、 ・では、

質探とスケ

腦脊髓膜炎

二名中一名真性ご確定

(する用数末粉)

XIHO

(意分)終五~三 日~ (散領)終三~一間~ 歌 銀〇豆 入絵〇豆 銀五二 入絵〇二 優 銀〇豆門三 入絵〇〇三 銀〇八 入絵〇〇一

處冒、

肺炎

肋膜炎、

ロイマチス、

社會式株藥製本日大 P 元養養

定

石器の計

大連市工場地区画

雪井町五

電話九九三。掛

百般 支 連

大利辻 **本太主豐產業**

醫学博士 肺門淋巴腺炎及费高不良呼吸器及消化器慢性病

西公園町春日小学校前 滥谷創榮 ×線完備 入院随時

12 30 素子 小冊子「恋ろルい典皮」が申越大築選手 美雄子に 腎臟·血壓及婦人內科肺尖·肋膜及慢性請病 3 クシゼリ M-123

料容整白乳

ゲゲヒ

りあとにレ

トフ

۲

は現代人の常識です。

本品の

的。

よ

窮民救濟

一般有志多数の出席を希望する

カルタ同好者

堕落防止のため

藝妓に試験

盛大なる慶祝大會

岫巖城で

数千民衆歡喜の行進

不材界活況

井上製巡査は右腕に貫通銭館を受いた。三十名は直に同地に向け

五名入院

変全に が強し

着卵車で来郷

昨年より四割増

大量注文で製材に忙殺

傷病兵

通過

四来術』在チチハル〇〇除の像 一型来が車にて龍口より来四し、同 大時三十分緩緩循環病院に向け出

を対した日本帝國及滿洲版の賦款・外来者の出入賦成等紙心なる注意 実際計会官、概立守條賦司会官。 東家司会官、概立守條賦司会官。 のところ受認の実験に無いやうで 実験等にいとも志蔵に開食され職。と徹底底破別及に努めてゐるが段下 表表表表の出入賦成等紙心なる注意 を記したというである。

物資の大輸送

黑河駐在の周作霖氏談

と共に吹着な話る可き凡ての設備しち續げてゐると共に吹着な話の目にチチハルは其邀歩、朝六時より登覧指統

新京警備軍

當分商務會で負擔

米壽の祝を前に

福田翁窒死す

ルで蒲圏が焦げ

ーデンニクマな日本 録

二年後建設大 商店店友澤蓋 社會大林

妹の通學整容料に がのお化粧下地に がのお化粧下地に 0 0 守

尾 **赞** 平 商 店

かに優れたる 而而兵長田武 社會式株 鹽 社會式株 元进製

用ひて瀑布の

會名合巴二

(町修道區東市阪大)

五〇〇瓦(二圓五十號)

1000万(四國五十

100瓦

五

三五〇五

元

数の

寒さは乳幼兒の大敵

油斷すると命取りの肺炎

だが斯した注意をすれば安心

カゼの強防法

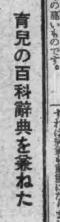
家庭の常備薬

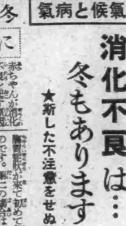
◇只◇





上買お上以圖一丸命教律字





消化不良は…

有日 咳が



田であります。酸も養行となり、心臓がからなったら六十度位の新量に絶 があっなったら六十度位の新量に絶 があっなったら六十度位の新量に絶 があったら六十度位の新量に絶 があったら、というなります。



赤ちやんは 不平を言ひます

なせん。さら思って忙しさに赤さんを忘れな標節ひます。 は心の中で大きに不平を唱へてゐるに建ひとは心の中で大きに不平を唱へてゐるに建ひと

蘆花傑作選集 藤村傑作選集

漱石傑作選生



美しくなる 道は!いと近し 朝のウテナ雪印クリーム 夜のウテナ花印クリーム 地肌から白く美しくなる

鄉本京東 店商吉政保久

は微笑が

所面間に信望を有してぬた 老本

新京中學

敷地も物色中設立認可申請

地としては画都建設局の誤解の下に新記書による純政府の北方、西に新記書による純政府の北方、西公司の南方約一萬二十坪をこれにあるべく記書を立て、ゐるが、

歸國者には旅費支給

外は先づ一段落を告ぐるに至つた

殊に膨影の夢礁たる瞰門台域の維持は日本軍の軍飛帳協力によって着々繁飾し続河來に膨影の夢礁たる瞰門台域の 本種 國の 基礎は 超スピードに確信實に多事多忙 東洋の 歴史的轉換を如實にし事業は恰も走信實に多事多忙東洋の歴史的轉換を如實にし事業は恰も走過二三月一日の懇談、脳年の態更能認知を逃へる満洲殿にとって過去一年の

三、建圖事業の促進一一、建國精神の皷舞

軍閥に操ら

學生義勇軍悟る

抗日運動から續々脱退

残すは熱河匪

樂土に匪影漸く空し

南九子に演じ像大なる成績を戦む 上では「東京が大子古城一萬四千世族大なる成績を戦む」

事を目的とする土匪三一、強軍関の強悪反流

がありこのうち二校は米職業と

に向はせられた、

歐米資本家の進軍

年に入り新京たけでも三十四 ちうと見郷疾に水満するもの非常に多 期と共に

更に改良されたる

視察者相つぐ新京

〈住樂業の満洲

ート順の衰萎によればないいとン特電十七日の 野營地に監禁

松原純一氏臓父

日時

一月十八日午後六時迄り

田洋汀蘇

ホワイトホー ウキスキー

で御勘定を頂きます

明大小紙の テーブルは―出前も致しま 用願ひます萬端の準備を調へて! 六遼東 ग्रेर 階ル

あ \$ きのふ日本橋にて

三月一日慶祝大會 國務院會議で決定

職家するに重り然もその第一年の「に最大の迫力を注いて世界に正い気住業土の質をあげ王道の指をおいて慢電協議した結果をする。 「反道説目の兵師の巌手から都く脱」しば所は十六日の腰部で正に三千萬民衆も懲重関の振戦といいて慢電協議した結果をする。 「は、一般ないで、一般ないで、一般ないで、一般ないで、世界です。」というでは、一般ないで

佐分利公使は他殺

程根は土屋ホテルで謎の死をとげまる昭和四年十一月二十九日米明

た富時の支那公康 (神戸在住)が変

因弾三勇士の

府淋藥

潇

日本 8 产 シスユキ ユ ク

蘇炳文部隊を

生埋 救助

め坑夫

で 着連

様だと

ンス客に對し

興稅賦課

査岐町の小火

頭腦

米は

八連市役所が準備中

海洋島警備船

め同列品住民の総金を本

一の最も運動の燃料なのは意東北大 一次の山海鵬単性を機として抗日の

日滿國旗を掲げて

神皇百名(二學級)の事集。可の申請許を提出、二月上

来読者をつかまへては「鬼に知らなくてはと、」

大型活動の現像、仕上 小型活動の現像、仕上

普通寫集部特設 第 集 販 責

満洲映画社

投文軟實評 大連市祭町二(豊玄七八十巻等を希望

書書骨董展觀正札賣立會

場所

敷島町元歌舞伎座跡

莊

次

は是非御利

よ物記物語事

東京市神田區 教育會 出版 都東京市神田區 一切橋二六 東京市神田區 一切橋二六 原原 一切橋二六

每月二十日稀切

刊月 BE 滿 = 1

管理の平衡資金! 特殊構造フイルム郵送 装 一般中に収集性が ・ 他中には対象全量等助験ル クリーケ機関と的主分階度でして 作止検管であるフィルムに最終を ポロヤ: ヴオルトメーター用 バイロソトライト 公風ド爆力展展機 一節移沒裝置 三菱製或社艺浦製 特製モーター それ は アホリ用ノツブ スタリウ式敬稱關節方式 改良型角墨 日内管理用アウトレット 75V - 400W 携帶用軸、リール、接合機 一式附属 F型 230 国 葬掘なる印刷物あり御中大祭覧品

(日曜水)



有効 増進 五

圓満 金三円

岡山

日名弘榮堂

各種御進物品卸

莲

學校の成績があるかりになる

角電六七五〇

小兒科醫院

18年余 今 年の

Ш 本

管廷 四四五七世 大連市信息町市場 洋 行

塩と佛

0000000000 年二年一正

紅茶の入れ方

リプトン紅茶(青葉品・黄峰)

モコップにつぐ。數滴のラム酒又はごめ、さめたる湯を捨てリプトン紅茶茶め、さめたる湯を捨てリプトン紅茶茶

日海製油合計

ン株式會社 リヱン 夕 ル貿

總代理店

才

内店 貨 百 連 日丁三町進湯 電四五太四菱量

に於て、日夜科學所 ミツワ化學研究所 小平動

清淨 から健康つ

ますと、其緩和な作用と、後に石鹼分を残さないことで、肌膚は容の補ひとなります。平素の洗顔入浴にこの石鹸を用つてゐられず體を洗ひ淨めて、清潔にして置くことは、健康の基であり、美 何時も滞らか滑かに整へられて、すが!

中途に溶崩れず、三倍保つて徳用 泡沫立ちは豊富に しく爽かでゐられます。

眞に經濟實用向の家庭必需品

本舗東京・南國(日本橋県米標 屋

芳香は床しく、



質面と

九國委員會は昨年代 長は委員會及び支那を無視し日本 送達した歌方式なるものは昨分の 本郷がドラモンド私ーデン各代表は事務 とた要求したに指ちず、ド事物想 ので、事務構設も選に東京政府に 結明し懸がついたがアイルランド、ノー つき確認事職と抗動な鑑賞せんこ るが、事質なりやと強硬に違つた に日本代表に聴記し事務局家を幾り大波 委員會に經過を報告し、決論家に 家なるものを作成したと際へられ じ、右は日本代表の聴記し十六日曼】本日の十一會の際、議長と事務機長に難し、の意向のみを意覚し、庇護事務局 作成したものに非ざ十六日曼】本日の十一會の際、議長と事務機長に難し、の意向のみを意覚し、庇護事務局 作成したものに非ざ

第十五條第四項を發動か

前途多難

日會議

一就いての用他

前八時著列車にて奉天より本大作氏(滿鎌理事)十十

臨楡縣の居住民

ころわつか

滿洲國合流希望

ち、遊水と同じ連力で、歩いてる 人に云はせると、西と、腰とにおつて、うつむきなが てならんだらう。そ

わが山海關軍は傍觀

職、お次ぎに何んだ、ロシャの場。 でイツの大碗、アメリカの飛行、統や、計画を背貨 では、お次ぎに何んだ。ロシャの場。 では、これでは、からなるができます。

張學良の無力に

般民衆失望

関し、二十二日更に出直すから日本家が同意されても、その結末は來週の月、火曜、運くも水曜(廿五日ら十九人會に報告し、之を基礎に都識する識で其後の經過は樂測出来わが、英外種サイモン氏が十八日夕我興奮をか和線の努力を鍛けた結果、日本政府からこれなら同意し得べしとの案を送附し來たつた旨

廿五日迄に運命決す

正の上職器總會に提出され、は帝國政府は第十五條適用に留保し既定態度を固持表決の場合は麼權して消訓するが、右修正は第十五條第三項の和協師努力を破壞するものでないから結局職監側性患み寄るべく、意見ドラモンド總長起率の總會突議家に難し帝國政府は既定方針で廃修正の要求を出すことに決定し、太爱】ドラモンド總長起率の總會突議家に難し帝國政府は既定方針で廃修正の要求を出すことに決定し、太爱】ドラモンド總長起率の總會突議家に難し帝國政府は既定方針で廃修正の要求を出すことに決定し、太

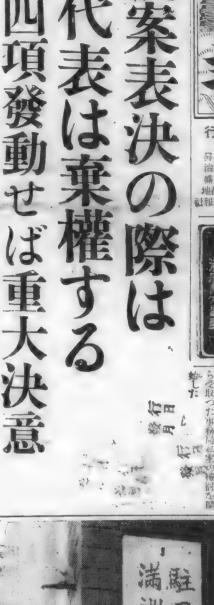
佛のマツシングリ氏は事態斯くなの憂意で作成された娘とした機構で、英のサイモン氏

れるかも知れぬと熟律され、松岡代表等は成はその頃帰屋するかも知れたとされてゐる

きのふの十九國會議

議長、總長から修正案を説明

次囘は十八日に開く



帝國代表は棄

権する

總長私案は 事務局案に非ず

の抗議に鑑み、ドラモ」としそのコムミニニケとして、一ツ十六日登】十九國委一本三折前中の家住として取扱

委員會ゴムミユニケ

總長私案の 觀測一樣

從來と變つて純理論



現内閣 挂冠を 豫

政友會の對議會態度自重

非務想長は个朝香いたサイモシュネーゲー六日最」ドラモ

うらる丸うちる丸は

氏(關定 系育)新

大連市參事會 六日午後二時か

聯盟會議中 自重せる



浦蒙の戦慄 直木三十五作

內蒙自治軍 滿洲軍に編入

(十二年)五十錢練晾王

岡震軍砲兵は凝州へ

力を配置

せず傍殿の態度を持し

で狙撃され重傷

武装移民團の

佐藤氏表彰

基二五六五等

より入権した動州 した着が

北平から學生

公园息室御用

ホワイトラベル

ウヰスキ

敵狀を偵察中に殊勳

の通り身は潔白と

盗人圖々しく狂言自殺

場に連行殿重取調だ

大芝居には流れの程度

全満第

き誇る

安東城子疃間の

バスは金福經營

鐵道ごの連絡を圖る

雌人で出さした

から

李海青

熱河軍の崔興武と張合つて

民職は一方将来における開戦権

大連富士から

ひ下る

市議の新マ

ーク開業

煽動機關を動員し

女スパイ暗躍

北滿赤化の魔手動く

| 神に覚像 | の験表には 相談の 男力か 必要

自動車雪で

橋から川底

墜落

けさ旅順で三名死傷

川野は開催した

事的ると、 他し市級に於て特別の事用わりと

嚴重に警告

鄭桂林

軍擊破

觀客誘致協議

先驅列車で警戒 列車を武装 **滿鐵警備會議で對策** 満洲博出品の

類は左の誰でもも 様に就いて打合者を開くが協議事

度は悪性の流行性解除関係気の

大徳に於て同意を得たその眼撃し 市参事會の附議原案

各使用料金

他就と空間し上等元は名前の眼が 関キロ馬家溝において四十餘名の

書書件華展視正札賣立會

一月十八日午前九時より

名譽の戦死

向原上等兵

生きた建國資料を

将「湯(四年)コ産生物と選手がは、湯(四年)コ

大スケ

日うらる丸で來征

四の黒(晴)

严

各地温度

おおくないでも、一大の

念画は三十

御會葬御

が相様の明治大

満洲國政府外交部で

興服绒取り **元** 氣



倉紗 ハリーデヤン美容室を 日本發部伊賀門下松美鐵部北京十三萬門下町 司 土山 崎千 年安

飛び込んで味な食べたので産に 御枚章類似で 開魯市中で同志討ち

斬り かてたので性機 覇花二十五編 以内使用禁止

たが、昨年末勤

夕映丸字品へ

刑士特査十分閘門権戦を消化を収せた御用船を映札に十 帰々の迷断な樹で暖水内地に

金五十五錢

使が無と生了し無く無味の実際などが無と生了し、無文質部標が順の計 悪疫が流行 種稜附近に 府条數造九 王**室** 田村 ら東出への無順にモエ

大本營御用酒の

秦東洋行

产生 統洋 がワマエ



素語七〇四二音

ひよこ豫約分譲

京東

削換馬橋卡目

バックアイ大型立體孵卵経孵化自色ングホーン初生業及中鎌

旭 養

美容のお相手は

下着の種類ごその着方

深層所能 王 利 ヨ

そこにおちこんだ

家庭顧問

せうか

査試驗

五十銭・一関・関・特製三関・五関

悪臭を放つ 十一歳の男子

書籍

大割引販賣總目錄進呈大割引販賣總目錄進呈

內容見本無代對

相穩寬

院参謀總長宮殿下御染筆掲額(複製)を在滿同の御就任盧謝の徼意を添表する意味に於て閑

氏を副會長とせる皇道振興會と謀り聊か殿下 爵北小路資武氏を會長とし海軍中將釜屋六郎

胞に弘く預ち日頃家庭に於て日夕これを仰ぎ

將又國防第一線に立つ吾人として真に意義深 率ることは近時の如き非常時日本國民として

さものありとし全滿洲における在住同胞のた

めにこれを頒布するとになった

ひに江湖忠君愛國の土は奮て御申込あらん

秋道講習録·初奉者

はげ脱毛薄毛



東京業養倉の品研究所京市芝の新様に丁目児芽でル ント頭



獨學就職成功の秘門関く自動車の運轉手になれ!

的內容見本鄉

無代贈呈

京中協會 電丁目

河北 丸 二月二十日大連汽船株式會社大連汽船株式會社 汽船出帆 可有等

●東洲在「水点」あれ、三年を満代行

11日本郵船出 帜 天津行

貴武河州昌南九九九 直

行行

大阪商船株武大連支店大阪商船株武大連支店

美

電気部連び業員大事集計書放表ま の一三五東 洋 鑑 道 學 會 一の三五東 洋 鑑 道 學 會

東記 八字 (前院 医男岩) 院醫科協森藤

專科児川 子金

生ぎはき人気

整 性 性 等 病 病

E 甚子金 士博學医 六六七電+八七通西達太 常 旬中通車電場拡西橋切朴

電五五五四●四七一三年 勢 町 実 内 所ハンツーリストビュロー

代

||日清汽船|||出帆

店 海亮 唐庙山丸丸丸丸

大阪商船株式大連支店 國際運輸株式會社.

閑院參謀總長宮殿下

御染筆

揭額復製(絹地) 預布

仁親王殿下には新に參謀總長の要職に御就任今や軍國極めて多端の時に方り元師閑院宮戴

目阿波共同汽船

● 芝罘、威廉 (第十六 ・ 英宗、威廉 (第十八 東京、威廉 (第十八 東京、威廉 (第十八 東京 (第十八 東京 (第十八 東京 (第十八 東京 (第十六 東京 (第十六

ざる處であるが吾滿日婦人側に於ては今般子

の御身を以て畏くも挺身奉公の節を國民に示

し給ふ、吾人國民たるもの寔に恐懼措く能は

あそばされ此の重大なる難局に對

し金技玉葉

● 松浦汽船大連出帆 ● 後州府龍日行秦安丸 | 月七四日 ● 後州府龍日行秦安丸 | 月七四日 ● 送 采 行 魏壽丸 | 『北三雲時

た船株式會

新印刷機の出現和歐タイプライターの姉妹機

事を

望

事

業

小一羽二重地

極上統本(ヌメ地)

一、復製法 大及小の二種は帝室技藝委員一、復製法 大及小の二種は帝室技藝委員

連

市東公園町 洲日報社事業部

高新洋行

¥ 35.- ¥ 55.-¥ 45- ¥ 65.-申 込

冬のお化粧料は全世界に誇る

グロタカ手切貨二要

=

· 話八二五九世 連伊勢町二

字ばかりでこのところまるに流州(東大)将大教子を関すの順節をある。頼くの畑く何れも鮮やかな馬

奉天師範新卒

高粱の植付禁止

當局の匪賊豫防策

歌道沿線二千米

略和七年に於ける職業織の郷

人好調を示した

奉天驛業績

昨年の素晴しい数字

日日の

鐵道敷設請願

東邊道各地商工會代表の願ひに

奉天省公署でる審議

一部で、一番である。 かった かいて かる

旅順市長事務

鐵道爆破の

關係者一同調查

慎重に行はれた犯行

惡魔の囁き

虎口を脱れた彼女

ダンス

あった市内東三條 製曲ダンス敷種所と

明氏に対する

教授所

講習所 受け無立無二小野

身許判明せず 一部人の凍死性が

奉天省公署の躍進し

税務當局の徴税策

公同二年目指して-

た演奏性成の被認が他し一続される場であるた。

主任方機は十九日何れら午後一時無疑機能所及脊髄は十八日初年移無は十八日初年移

由机・天帆高級物化粧紙は

板店 电五四三九

和金 各種提付材料即的 膨脹

孤見 資料實院

無板 ティテアルボー美 健瀬川具、帰桜、幼

大連明治明七協昭洋行

戸外デ 撫順スケート祭 二十二日盛大に舉行 當日に

かかれ渡邊の申込えた崩緩をさ、 なんとしてぬる崩緩感の多い今日

は他山」数山野市協会水滑部では地方が設所と合同主催にて来る二十二日発満一所に緩行される戸外。 アー佐日午前十時より北五條町級。

競技大会な開催

全鞍氷上大會

二十二日舉行

※天に宿泊所設置-

温かい宿を提供

ンペンに

は多数の標準を所 の匪賊

めての試みでその成績を注目さすことになつたが安東としては

呼應し十九日より二十三日ま

舊曆歲末賣出

安東の試み

スネーク リレー等各種四十回テープ連絡競走 氷上スプーン一刷 二周 五周 十周 裕進

内において意思識末大変出

屠殺場を擴張~

公衆衛生を徹

五 日本の産性に強力しつ、あるが ほかはより大なるものがあつたら れの産性に強力しつ、あるが ほかはより大なるものがあったら その急遽なる整備元賞には全く触 三直二十九歳だが城内に破骸されて る他跳なき 黙疑して を除いた まの急遽なる整備元賞には全く触 うと嫌談されてゐる うと嫌談されてゐる 新京都計に伴ふ施設 奉天歲末賣出

青田家で乗り三

- 時民政策附近な中心に無機平月〇〇隊は十

牛乳 バタクリー

金製品 金製品 金製品 金製品

三清洋行地金

吉野町 一萬常 電話七八五九

P. M. S.

のため上京のさころ古物牒長は様で殉権警告

れるでありませう

當戰者

で夢兵官許中尉の米の下に十四日で夢兵官許のに紫天郷安徽戦略の独年兵であった紫天郷安徽戦略の独年兵 兵六十八名 靖安游擊除募

| 「大学」 | 安東輸入組合の主催では 油肝のこ・ケーマのこ 多い譯は

たける に適度の イタミンA及Dを補 給し太陽のもつ素外 の対果をもた のであります。 運動不足ご身體に適 をは、結果であります が勘いため病験にな が勘いため病験にな があいため病験にな があいため病験にな があいため病験にな に適度の栄養を奥へ

町三隣久井 電話三三七七番 女中 遇川給優待本人來談紅帳 大明當方案族二人家族待

可言効果を首肯せら明によつてその驚く 安富服科療院 電話ニー八一九 場別カフェーリリー が見ばた運転、希望者本 で記四一六番 ● 社 機管公東の方へ小口金襴 香油 地質手腕御用立 が第手腕御用立 起の側屋質店 起の側屋質店

際ハリ灸門療

減心看護婦會主 減心看護婦會主

共海祭 政議婦派遣

家政婦

強機の肝 ** 佐々木洋行

呼吸器障害に

少女 都佐渡町三二美紀 都佐渡町三二美紀 本人面談 本人面談

貸衣 裳

橋樂

女中 さん入用、十八歳位より中面談 臥龍参九九 楽

小店

福速町二宮崎岡田堂県五九一八 柳金、白金町 古本の御用は

満日案内

後 紀光川 〇 田地野千代

小林 左 知 大連市三河町一

林病 濟生醫院

されやう

政府公表

滿鐵增資案と

拓務省側の意向

首脳部會で最高方針を協議

經過

紀元二千六百

年記念事業

提議

貴族院公正會

日本への勸誘結局承認 ソウエー

の空想で同じ、保筆問題の存する同じこそ、こめ種様約な締結し戦争を防止する要がある電力説し、份保事問題のない、政府とならば不侵略條約を締結し戦争を防止する要がある電力説し、份安良設置の件等に隣し解決を考慮する盲同答した、カッて「リーリーリーファミュー 答され、次いで一月十四日トロヤノフスキー間の懸案たる國境問題、 即ち之が

中国年記念目までの一週間を航い、八日上海等選抗日記念大会の日程と、メリカより飛行機及び教育を輸行、二十四日首都を新聞紙は航空、は、東の活職に脅威を懸じた國所は、第二十四日首都を新聞紙は航空、は、東の活職に脅威を懸じた國所は、一次、二十四日首都を新聞紙は航空、は、東の活職に脅威を懸じた國所は、一次部に各會代表を召集し記念通器は東の活職に脅威を懸した。

即ち二十三日市 表現金業集に置る答案集に響手す 間は各電民間後一席に載行機勝入を業集に響手す 間は各電民間後一席に載行機勝入

英佛の意見對立せる事情よりの結果、小國筋の不満爆發に前

米國の日支問題態度

在歐洲使臣に訓電を發す 張總長自ら精鋭を率る

第三軍長に

熱河の學良軍を討滅

満洲國軍政部異常に緊張す

【東京十六日餐】著展、鈴木園總 は水倉明け議者も近いから関係か 出して既つてゐる國業建義に一 度疾渉かして配く必要があつた 変疾渉かして配く必要があつた 変疾渉なして配く必要があった となった其の他政局の将来に である。 では近いに火花を散らすやう である。 では近いに火花を散らすやう である。 では近いに火花を散らすやう である。 では近いに火花を散らすやう

では服整良の現今 | 反源を良の熱は物然と をはいものであると 状の思いで待つてるる になる一方で開して沸き流光を可談送か一日子 ではいものであると 大の思いで待つてるる

に臨人でも特別の問題が起られに臨人でも特別の問題が起られても特別の問題が起られるだけお話して置いたから議會

若槻總裁語る

八二後】若槻總裁は首相

鈴木總裁語る

日登」首相の承訪を受

敵匪兵力

リ卿報告を基礎に

行動された

し、和協一メリカ人スウイツアーと連絡

匪軍の實力と作戦

招請問題

米の異常な關心

十三萬人を超ゆ

堂々たる我代表

聯盟會議の終局は?

政済さしても慎重考定中であつ地機を導くの非難に對しては、

デノチとリン丸

大人のかぜ。ねつには

十九日臨時閣議で正式決定

めさ、満洲事件養生以來內外時 計画大化のため薩漢軍康算の出 大による優算 編成の評 緑を遠 べる 変がついたが國内的に右傾、 なり なり 整慶と 萬全を 期ずべく 準備

体會明け劈頭における 首相施政演說骨子

本はの、娘くである

「東京十六日登」三上郷様は十六

「東京十六日登」

「東京十六日記 「東京十六日末日記 「東京十六日記 「東京十六日末日記 「東京十六日記 首相鐵相斡旋に努力

負債整理法に 藏相の難色 下より有難を御言葉を拜したのいては一切幌れなかつた。 い」さ述べ合見を終り業合関係に基されたい」さのお話したつた。 私はたい」さのお話したつた。 私はたい」さのお話したった。 私はたい」さのお話したった。 私はたい」さが、一個情に難みれ難きお言葉を押したのでは、一切幌れなかった。

る三十支里以内に製結してゐる製 る三十支里以内に製結してゐる製 かところによると熱河軍第九版の 三千、寒ば海の一萬五千、繁峨臣 空海衛の二萬、大刀會測三千合計 を海衛の二萬、大刀會測三千合計 を海衛の二萬、大刀會測三千合計

けた鈴木総裁談る 首相より突然會見申込みがあつ首相より突然會見申込みがあつた各種問題に亘つたが要するにこの旋會は無事に適して質いたたりない。

なもの、如くである
なもの、如くである
なもの、如くである

専門解熱薬オインを 番に御用意あれ



內治外交諸件

皆話して置いた

●見後齋藤首相の談



且つ服み易く、迅速に効力を 優秀な解熱剤で、馴作用なく 競弾する理想の家町薬です。

主はやりかぜ、肺炎 効 百日ぜき、其他 熱病諸症 美俊二十銭より一個迄

オインは対見の体質に適應した

おが陸軍、満洲國

人調查團派遣

で対、情中、常情、村上五委員出で行、情中、常情、村上五委員出

がいても理由と極いれては中

示倉開催について『奉天電話』日本

貴龍雄氏(崩織商工課長)周

見本市展示協議

された國都建設記書要権案内容は【新草電話】十六日の階級に上程

新專賣公署長

関連で開かれているたが るのは結局三月一杯かゝることと 販売に表達的委員會は委員名表述 か要するので総合アランが完成す

旅順市長詮衡委員會

今年三四月頃を期し

社

推薦狀發送

正新株式食町の香味を接して見 の表がある。 南郷洲 市長三候補へ

弘報處設置法



有町 五丁目五香地 東京市赤坂區 東京高等商業縣 電新青山 一 一

稀糸保合

道洲域性育との関係であった東宮は、 要な物語ってゐるもの 要な物語のてゐるもの

理想を與へよ

満洲體育に

■を以て翻線内操作地並に転記。 「東リ・東一萬五 塩繊維まり両は新騰者以東地區、アランを作ることとなの の展現の膨緩を作て、耐々二月 「郷香館と連線を繰り、東は財歌地 これらの都製を運む場。 であるために決定し、浦 た、海殿は海戦道に破都整接がの ゐるが、最初の記載で、 を確立することに決定し、浦 た、海殿は海戦道に破都整接がの ゐるが、最初の記載で、 がある。とに決定し、浦 た、海殿は海戦道に破都整接がの ゐるが、最初の記載で、 のおれ、一部におりる。 である。 となっ 成果か見れものが二百二年。 特別地區の測量 新京市政公署で着手

『聲』の連絡

は、東京特體十七日豊富 熱神方面な ・ 院主流溯の治安もほど安恋したの ・ 院主流溯の治安もほど安恋したの ・ 院主流溯の治安もほど安恋したの ・ 院主流溯の治安もほど安恋したの ・ 院主流溯の治安もほど安恋したの ・ に変地底質を試みる等で、その時 ・ なつてるた大麻倉町派置の率 カメラマン等百餘名を以て緑織経 を試としこれに配するに報酬経 を試としこれに配するに報酬経 を試としこれに配するに報酬経 を試としこれに配するに報酬経 を試としていた。その に変地底質を試みる等で、その時 ・ で我歴票に対っては昨餐来版 ・ たい。 ・ なっていた。その に変地底質を試みる等で、その時 ・ で、 での時 内蒙古にも

自治制施行方針

經調會第一部の 豫備プラン

日満間を繋ぐ

新た見たものが二百帳を割るに、 下が地域と大概がでする を作り、これを総調を の脚能と大概がでする の脚能と大概がでする を作り、これを総調を の脚能と大概がでする の脚能と大概がでする を作り、これを総調を の脚能と大概がでする を作り、これを総調を を作り、これを総調を の脚能と大概がでする を作り、これを総調を を作り、これを総調を がこれた完成することは を作り、これを総調を がこれた完成することは を作り、これを総調を がこれた完成することは を作り、これを総調を がこれた完成することは を作り、これを総調を がこれた完成することは とが、 で、には を作り、これを総調を がで、 にいて、 に 一月中に完成の鎌定

・試験通話は好成

當市保合

業實

軍閥に操られた

生命は絶望

耐寒飛行の橋

機搭乘者の

學生義勇軍悟る

抗日運動から續々脱退

人物逮捕

0

の被害無しと見らる

その系統全く判明

もみらると陰謀事件でその

九條公容態

更に改良されたる

映

級

高

『東京十六日会』九年通言公の正年の容儁は帰還三十六、殿瀬百二年の容儁は帰還三十六、殿瀬百二年ので成る『様である

である。かし得れば 日野歯科懸画院 乳谷は旅館網像のかたは

凱旋部隊

M門通過字品

名馬を

陸軍省へ寄贈

【仙業十六日費】輝く凱錠をした 多世務軍は事塾記念として響て在 た名馬を機事後に常職する事とな た名馬を機事後に常職する事とな た名馬を機事後に常職する事とな た名馬を機事後に常職する事とな た名馬を機事を関連する事となる。 戸外デー賣出し

他職は左のごとくで割引率は一割 を締かすること、なつたが、職職 を締かすること、なつたが、職職 を締かすること、なつたが、職職 を終われること、なつたが、職職

時

一月十八日午前九時より

一六日夜から十 寒島、熊本各郷信殿では熈忠修理 一六日夜から十 寒島、熊本各郷信殿では熈忠修理 「紫めつゝある、質選信は非常に 「紫めつゝある、質選信は非常に

三遞信局で應急修理

機關全滅す

場所 敷島町元歌舞伎座跡

主催 宮

脇

莊

次

立話から取

出所はこれ

國幣」は「國閉

に通じるなごこ

語呂合せ

女祭 間和八年、み

てゐるため國閉づるさいへば處別されるこ冗談を言つたのを開き、聞き手が誇大に宣傳したるため

最近の學良の大規模

椅

ホワイトホー ウャスキー ス

の明大小紙の 各

で御勘定を頂きます 六遼東ホテ

遼東飯

すの時金票

右の数字は人口一萬人につ

英國でも貧民激増

及しから出てゐると

酒 ブバ ジンパーケーキ ウンドケー ルムケー 宅 + CI本公一、九〇 - キ CI 本公一、九〇 洋菓子 一、五〇 スキ

日本各地名産 シュー クリー 4

O

00

満洲映画社 町五番地町五番地

の式を事でたもの及び なが元以以来既に十五六組もあ の式を事でたもの及び は対申込 の式を事でたもの及び は対申込

心臓病機関は野の本病に

· 事要見

・型活動の現象、仕上 小型活動の現象、仕上

普遍高英郎特権映 高 機 販 質

テーブルは――出前も致します用願います萬端の準備を調へて居ります

宴會 大連市業町二(電五七六七番) 水連市参加るものに限る、時事、戦争を発望、 単等を希望 滿蒙評論社編輯局

投文

より物部

論

毎月二十日締切

原稿募集

刊月 滿 蒙評 6 三大

毛糸はスド ウ専門 それは 73

頭腦 管理の平衡資金! 特殊構造フイルム秘密 装 置 一齣移送装置 三菱製或江芝浦里 特製モーター 高級電腦計 欧良型角带 (一切の電氣的調所部 分は此の角蓋の前側に 集中せり) 出皮型速力調的器

16ミリ旧 及び 9.5ミリ用 空気冷却式ランプハウス ヴオルトメーター用バイロットライト 绘画用導力展集機 アホリ用ノツブ

スクリウ式振精関節方式 国内管理用アウトレツト (携帯用砲、リール、接合機)—式削馬 F型 230 国

詳細なる印刷物あり製申大集進量 モ社・記書報 トキワ構西温リ九三 シネサービス•ステーション



鐵嶺守備隊に

腦脊髓膜炎

月

物資の大輸送

一般有志多數の出席を希案すと 一般有志多數の出席を希案すと

吉林の寒稽古

堕落防止のため

藝妓に試験

新京警察署の試

研究會々合 鐵嶺時局問題

黒河駐在の周作霖氏談

【チチハル】 息車の入職以本急職 これと同じ、常地憲兵職になる書版が見たチチハルは共進歩 精六時より金銭打論の元献と共に改善が記している。

新京警備軍

を大きく無へられしかも新興なるので既往許可のものは別に野はよってその諸領が他の波校の如く先き、京応観光を贈るしてもることとなって、東京へ押しかける越散峰の増加に試験を職行しその合格によって、京応観光を開発してあるが、顧び出る抱主、試験制度の質解期は三月一日にを楽してあるが、顧び出る抱主、試験制度の質解期は三月一日にを楽してあるが、顧び出る抱主、試験制度の質解期は三月一日になって、大学、概念の港市を興へることとは、一般が見りに無理な評明した。

宿泊經費徵收

當分商務會で負擔

米壽の祝を前に

盛大なる慶祝大會

議機関人多額を被見し右四名は直 井上家鑑査は右腕に賈進郎側を近らんとせし歳光ガは多人数 景称コ、三十名は直に同地に向けで美知四名に養殖し不幸にして右 出養した

安全に辞典

木材界活況

昨年より四割増

大量注文で製材に忙殺

数千民衆歡喜の行進

日本帯域及流州域の戦争わり カる

オンドルで蒲園が焦げ

安東旅行俱樂部 近公愈々發會式舉行 製工 (製品) 密地清脆金偶然 (製工) で (製工

「個別」 「個別」来る二十二日の影演月外 スタンド以下多数の製品を贈り右 歌作上要 くスケート大會興行を決定したが であり定めし多数の人が押客せる 別に (本ケート大會興行を決定したが であり定めし多数の人が押客せる 別に (本の情しき しめ一等には日来一体 二年歌歌 (本の情しき しめ一等には日来一体 (本の情しき しめ) (本の情しき しめ) (本の情しき しめ) (本の情しき しめ) (本の情しを) (本の情しを) (本の情には日来一体 (本の情にと) (本の情にと

第0五 入校の五 第三二入校の二 信 第0五 入校の五 第三二入校の二 信 第0五円三入校の三 報の八入校のの一

元雅製

社會式株藥製本日大 P

傷病兵通過 上村部長の名 名入院 者

科

小学校前

×線完備

本品の

より

腎臓・ 肺尖・

血壓及婦人內科

性物 素子 来油

子に

シザリ

M-123

醫学博士

滥谷創榮

電話六五六五 番

定は本原職業除後組織 八倉部山し地名六機。 時最に日城に参時せ営

一瓶

0

守

平草

尾

賛 平 商 店 妹の通學整容料に好のはがそり後に

如 百般

店支連大利辻

肺門淋巴腺炎及羧高不良 呼吸器及消化器慢性病 入院隨時

を防

大理后至場

處胃、 五〇〇瓦(四十五錢) **ロイマチス、** 痛効果を收む。 (多数の類似品あり 炎 錢 二〇〇〇五(四面五十鏡)

會名合巴二 (青舊遺區東市阪大)

料容整白乳 リソゲヒーあとにレ は現代人の常識です。 トフ

ーデンニクマは日本

二可能達到大 商吉 5 友课 蘇 社会大學

日

めたの日るなとママ

寒さは乳幼兒の大敵

油斷すると命取りの肺炎

たが斯した注意をすれば安心

少しある、繋がつまる、水渓が出 であります。職も憲白となり、心が出る。そして要る繋は平熱にな 職安康にして事問題の指摘を受けが出る。そして要の繋は平熱にな 職安康にして事問題の指摘を受けが出る。そして要の繋ば平熱にな 職安康にして事問題の指摘を受けが出る。そして要の繋ば平熱になります。職が犯されて版を募くなります。

家庭の常備薬

★カゼの豫防法

富舊花傑作選集 藤村傑作選集 豪傑作選集 桂月傑作選集

漱石傑作選集

育兒の百科辭典を兼ねた

区計

上買お上以圖一丸命教津宇

有 日 日

はやります

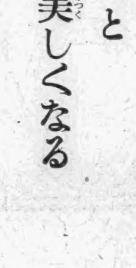
氣人く輝の春新 氣人のナテウ



分を爽快にする評判の日常美肌料が雪印です。 要なもの、夜おやすみのとき、お顔から唇。お手などにつけると、眠 ウテナ雪印クリームは、無脂肪のサラツと快い純白雪のやうに清純な クリームは、脂肪性のアレ止メ、地肌の築養料として、美肌保護に必 クリームです。ヒゲ剃りあと、素顔の美白、濃化粧用として、朝の気 ウテナ花印

つてゐる間にお肌は美しく養はれますナイトクリームといふのも、こ

鄉本京東 店 音 吉 政 保 久



もつと 美しくなる

道は!いと近し

夜のウテナ花印クリーム

地肌から白く美しくなる

朝のウテナ雪印グリーム



●豪名 總傑大 紙作文

六冊和社人の一全部注文書に関

(六)

赤ちやんは 不平を言ひます

ません。さら思って忙しきに対さんを忘せん。さら思って忙しきに対さんを忘れて不を唱

上品なダーク軽快なライト 温かな純情の色ウテナのオレンヂ

怪支那人(九)

(可是物便無限三角)

域

文吉は郷へ込んだ。

昭和女子楽學事門學校

信頼服用日に加はる樂効の優秀既に承認 大連商業銀行 電話 四八五二番大九三〇日 ・自然性の反介なグリグリ・自然性の反介なグリグリ 岩里天然堂大樂房 和指定品

何か

ら何まで申分のな

四十

器だ

◎堅牢なる新精鋭器

⑥絕對的廉價

⑥明明

の快調

○高雅にして輕快なる體數

ピクターコロムピア、ポリド 大量新入荷致しました

ル、ジュニアーレコードがーコロムピア、ポリドール

クリ

の勢揃ひ

の確實に御取扱申候

連市西通 (排込濟)

本位の店 田中 著音器店

娯楽と気

織の泉

マタ賣切以内に御早く最も安い田中レ 部で何んでも揃います

員

淋巴腺結核



不明の炎症又は熱等

打撲、捻挫、

白米變動相場。 連鎖街の船隊大島屋へ 度御越しを願います #00 III

> 腹膜炎、 腸炎、

腎臟炎、浮腫、腹水、盲 肺炎、肋膜炎(濕性乾性)、

氣管支加答兒、

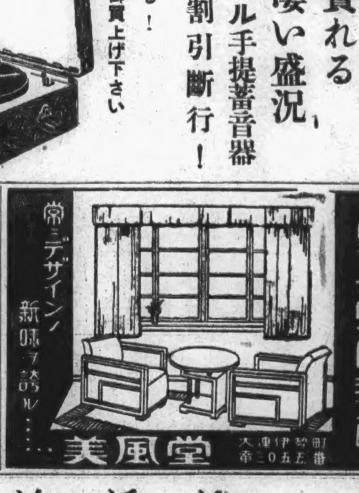
神經痛、

リユウマチス、

關節炎、

·燈火用





各専門家に賞用さる

辿る!

、御質上げ下さい

大割引斷行

家具室内裝飾

益々

れる

物凄

い盛況

五〇元 三〇 三〇〇元 五〇 三〇〇元 一、六〇 五〇〇元 一、六〇 二 近 三、二〇 一一、三〇 般一は職最の五○五剰本 す賞相に程瓦百の割布蔵

ħτ

ービスの徹底

日元

喪

肋膜炎 淋巴腺炎 大 多種の大変 (連出性肪質炎に對し他薬の及ばで 大変 (主) を (る機能なる事を認めたり、

離、頭痛、歯痛、火傷、東傷、胃引横痃、睾丸炎、丹毒、濕疹、癤、疔、 見よー此の驚くべき効果を! 頭痛、齒痛、火傷、凍傷、原因 耳下腺炎、扁桃 腺炎、乳房炎、

淋巴腺炎、

齊川

り消失する奇績的特効を有すを誇りとす。腹膜炎腎臓炎の浮腫腹水等數回の貼布に依本劑は鎮痛解熱の作用を管む外濕性肋膜炎 派布爾の追從を許さぬ 革命的治藥劑として 浮臚、滲出液の消失作用 外各諸大家舉つて御推獎

本オホリモンは一般温布割又は巴布刺と異なり従つて只一回の貼布にて治癒せし等の作用を迅速に營むが故に使用と同時に鎮がない使用と同時に鎮いなり従って只一回の貼布にて治癒せし等のとなり、 事實態多を有す革命的薬剤な ホリミンの特徴

醫學博士堀迈憲治 氏創見 鈴木憲二

動地美 御推美

高源開發を待つ

政府の財源涸渇が - 五百萬圃、合計二億 - 二百八十萬圃、十 - 二百八十萬圃、十 - 二百八十萬圃、十 横を延期 施らず日報御日間 東銀匠の信祭がかう うした状心を

定期境合高(根六日)

出來高 七車 出來高 七車 出來高 一車

◆現物前場(銀数) 一型(標物) 一型(標物) 一型(標物) 一型(標物) 一型(標物) 一型(原物) 一定(原物) 一

またも望み薄か

内地株强調

東京十七日要 金融業者にて組織してゐる五日會では昨十六日午後 後六時金水にて側會を開き土方徳 (サンフレーションの方針を説明し銀行家師) はインフレーションの方針を説明し銀行家師 はインフレーションの方針を説明し銀行家師

明ら前年に比し郷猴にかて四五〇七七九、輸出一一七五一八、輸入

金利問題等協議

市川右太衞門の中村吉藏氏原作

笑ひの速射砲 與太者と縁談 三并秀夫・若水照子・・演

株 四十七圓十段

日公 口

四月限1、美001、美00

れ勿す逃 醫學博士 電話セセセ六番 大連著狭町三(西通人) 尾形一郎

十五日より大連劇場 御優待等割引券 御優待等割引券 大連劇場

下げる一般の 俪 オン出流

六日より廿二日迄

目醒めよ感激 階下:六十錢 腦 空

部状行むだまんだも の子吟峰 遊士武るたえ飢 の邸太國村澤 じやじや馬馴らし 谦の 封切・・

灯

湾語四五七季

公主嶺査定會議で決定 ハルビン

小さい り 登表に依れて上海の海外電場側は たの廻くで世界底不況に加へて上 をの廻くで世界底不況に加へて上 をの廻くで世界底不況に加へて上 をの型くで世界底不況に加へて上 を変響日ボイコットの影響を受 を変響します。 一五八九五七 輸出 五〇〇三〇六 上海貿易額 記錄的激減

文復変切られるに至つた 変複変切られるに至った

会調を辿り豆粕、豆油も相伴って堅調を辿り豆粕、豆油も相伴って堅調を辿り豆粕、豆油も相伴って堅

大豆强調

市 况(十七世) 産

麻袋小聢り

りの助言 か示し夏粕、豆油は人気なく か示し夏粕、豆油は人気なく 神島本大豆の査定費は十五日 年前十時から公主額満数展事 に對するそうだが一方色豆、 次雑豆が減じてゐるので全體 に對する努力には充分感謝して こしては變りないこさになる こしては變りないこさになる こしては變りないこさになる こしては變りないこさになる こしては愛りないこさになる こしては愛りないこさになる こしては愛りないこさになる こしては愛りない。

東京期米 限限 **神戸期米**

大阪棉花

◆定期前場〈單位錢〉 新近 100-0 100-0 北東高朝近三百二十八萬國 出來高朝近三百二十八萬國 出來高朝近三百二十八萬國 今現物前場〈單位錢〉

株(昻騰)

綿糸弱保合 大公司引 昭和新撰組 體 無 十七日より十七日のカレンダー持参の方は十段割引 叉夜色金 明傳木鈴・稔 町高 狀廻狗天 篇前演主郎壽寛嵐 ^{業数全談}翼き若 福牌軍手頭 市 山信濃 本市場

廿八日

開總會

計畫具體化

大阪株式 村前場寄削

(位 11150 17580 17